

トップニュース



世界中の全ての戦争犠牲者を追悼し、悲愴な戦争を繰り返してはならないという平和への決意を新たにす第42回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が9月18日、東京都千鳥ヶ淵の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で営まれた。昨年は台風の影響を受け築地本願寺で行われたため、同墓苑では2年ぶり。法要の様子は宗派公式ウェブサイト、YouTubeで生中継された。

新型コロナウイルス感染 一般参拝は東京教区内に限るのまん延状況から、定数など、人数を制限し来賓や宗門関係者のほか、法要は営まれた。

第42回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

千鳥ヶ淵墓苑で平和への決意新たに

法要に先立って、「いのちの尊さ」「非戦・平和の大切さ」をテーマにした宗門関係学校生徒作文の中学生の部と高校生の部で、それぞれ最優秀作文に選ばれた角谷美玖さん（大阪・相愛中2年）と水野真希さん（広島・崇徳高2年）に右智恵院総長から表彰状と記念品が贈られ、2人は作文を朗読した（6面に全文）。

角谷さんは「なぜ人間だけが、人間の大人だけが争うことを止められないのか。大人だから、なぜか。私にはわからないことばかりだ」と会場の大人たちに訴えかけるように朗読し、「自分のことだけを考へるのをやめ、お互いがお互いを尊重しあえた時、みんなが幸せになれるはず」と平和に通じる夢を示した。

水野さんは「明日」という言葉を手紙に、被爆者だった曾祖母が「明日」という言葉を使用し、未来の話を私を見て平和を感じていたことを想い、尊く貴重で平和の有り難さに感謝した。

続いて2人は、宗門として恒久平和への願いを新たにす「平和の鐘」を撞いた。これに合わせて導師・結果・奏楽員などが入場。石上総長が「平和は、ただ言葉や願いだけで実現するものではない。私たちが一人ひとりの、仏法を灯火とし、仏智に導かれた行動が求められています」と「平和宣言」（6面に全文）を行った。



寺法展に向けて最終確認を行う壬生善海相長(左)と喜多村真嗣実行委員長

福岡教区鞍手組（壬生善海相長、36力寺）は親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を記念して10月18日～23日、直方谷尾美術館で、特別公開「寺宝展・真宗伝来と念仏興隆」を直方谷尾美術館で開催する。

谷尾美術館（福岡県直方市殿町10-35）で開く。浄土真宗が同地域に伝播したのはおよそ500年前の戦国期。以来、戦乱や災害、飢饉、また明治からの炭鉱の隆盛と衰退など、幾多の時代の中で、浄土真宗の教えが人々の生きる依りどころとなり、伝承されてきた。

同展では、その歩みを振り返ることで次の世代に念仏の教えを伝えていくことが、組内の寺院、門徒が所する法物、書画、文書、写真など90点を展示し、パネル・年表などで真宗伝来と念仏興隆の歴史を伝えていく。

展示は時代に合わせ、▽御開山御影・法物▽真宗伝来以前▽寺院成立から幕末▽近代から戦時（炭鉱隆盛期）▽現代・美術工芸などに分類。この中、念仏禁制下での薩摩布教を伝える絶縁状（安政年間（1855）9（22）45666。

福岡・鞍手組 10月18日～23日 直方谷尾美術館

お待ち受け「寺宝展」開催

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

法要は、築地本願寺の中尾中峰宗務長を導師に営まれ（写真上）、讃歌衆（聖歌隊）は築地本願寺合唱団。参加した栃木県宇都宮市

台風14号の影響で、1時間の降水量が50mmに達する豪雨の中、念仏の音が響き渡った。

参拝した栃木県宇都宮市



「平和の鐘」響く

法要に先立つ午後1時15分、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑では、平和への誓いと願いが国内外に響き渡ると「平和の鐘」が撞かれた（写真上）。同じ時刻に、全国各地の寺院でも梵鐘などが鳴らされ、恒久平和への思いを新たにす。本山では日光照應総務、黒田正宣副執行長、地域の自治連合会の代表者らが梵鐘を撞いた（同下）。



で行われ、今も世界のどこかで戦争がある。これからどうなるか心配。世界が平和になるってほしい」と語った。また、東京都調布市・明西寺門徒の粕江市、武蔵孝行さん（80）は「父は昭和20年3月に東部ニューギニアで戦死した。私は3歳だったから父の顔は全くわからない。厚生労働省の戦没者遺族相談員を務め、海外の遺骨収集事業に参加している。遺骨が帰還するたびに、この墓苑で帰還式をしていくのが特別な思い出がある。誰の遺骨かわからず、父の遺骨もなかったのかかわらないが、父への気持ちも込めてここにお参りしている。収集事業にこれからの参加し続けるつもり」と語った。

本願寺新報

hongwanji journal

10月10日(月曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

寺院会計・幼稚園会計・保育園会計・税務・相続対策
◆宗派顧問税理士のゆびすいにお任せください◆
ゆびすいグループ
税理士法人ゆびすい
グループ拠点▶東京・大阪・東京・山形・名古屋・京都・和歌山・岡山・広島・福岡
YUBISUI ☎ 0120-067-149
文化庁主催『宗教法人実務研修会』の担当講師
http://www.yubisui.co.jp ゆびすい 公益 検索

浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といたいて
この愚身をまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏感謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しずつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
おさぼり いかに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます



「浄土真宗のみ教え」についての親教をこのQRコードから見るができます。



今年も千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が営まれた。法要では、すべての戦争犠牲者を追悼し、過去の過ちを忘れることなく、戦争を語り継ぐことが、平和への歩みであると確かめ合った。

▼10月17日から25日まで本山・間法会館で、第2次大戦中の強制労働犠牲者の史実を伝える「北海道・笹の墓標展示館全国巡回展」が開かれる。本派関係では津村別院、築地本願寺に続き3会場目である。戦時下、北海道では多くの朝鮮人や日本人が鉄道やダム建設で強制労働を強いられ、亡くなった人も多い。笹の墓標とは、その犠牲者が人知れず笹垣が根を張る共同墓地に埋葬されていたことを象徴する。

▼深川市・一乗寺の殿平善彦住職らが笹の墓標の史実を掘り起こし、日韓などの青年とともに遺骨発掘、追悼、返還を行い、共に史実を学び、加害被害の立場から一歩踏み出し、平和と和解のメッセージを発信するワークショップに取り組んだ。笹の墓標を展示する同展は、戦争を語り継ぐ取り組みの1つ。

▼戦争体験者が少なくなり、戦争の記憶を継承することは難しい。広島平和記念資料館の前館長・志賀賢治さんは「遺品を通して死者の声に耳を傾けることが必要。人は2度死ぬ。1度は肉体の死。2度目は人々の記憶から消える時。資料館はその死から守ることをしている」「数字で被害を語ると死者をなおざりにすることになる。一人一人に人格があり、死者と向き合うことが大事」と強調する。私たちに、語り継ぎ、決して忘れてはならないことがある。

親鸞聖人御誕生 850 立教開宗 800
ご縁を喜び、お念仏とともに

京ゆば 湯葉 弥
京・五条御前東 電話〇七五-三二四-五七七八
http://www.yubaya.co.jp

旬の味覚にひとひらそえて。



創業元禄初年

大笹屋

京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6

TEL 075-751-6889

FAX 075-751-7304

E-mail:m@ozasaya.com

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8385
京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9
TEL 075-8411-7550(代表)
本 TEL 075-8411-7666
FAX 075-8411-7666



〒600-8349 京都市下京区堀川通西本願寺前
電話075-3371-0162

薫玉堂

伽羅 沈香・線香 匂い袋
香老舗 創業文禄三年(1594年)

戴内流の茶道精神
正直 清浄
礼和 質朴
すなはなる 心をうつすわざなれば
手つきまがらず すなおなるべし

茶道 戴内家燕庵

家元 京都市下京区西洞院正面下ル ☎(075)343-0215
戴内家燕庵HP http://www.yabunouchi-enran.or.jp

漫画 親鸞さま
作 岡橋徹栄
画 広中達次
A5判/228頁
1100円税別
難しい本や史料が、苦手な方でも、親鸞聖人の生涯、その苦勞と偉大さを漫画で読める。
本願寺出版社
☎0120-464-583 ☎075-341-7753
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)
https://hongwanji-shuppan.com/
発送梱包手数料別(税込3,000円以上は無料)